

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

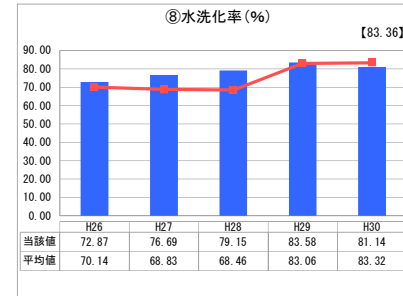
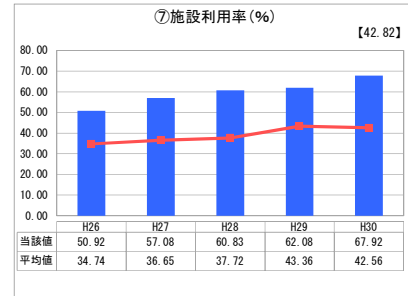
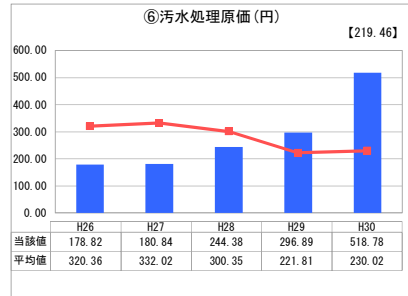
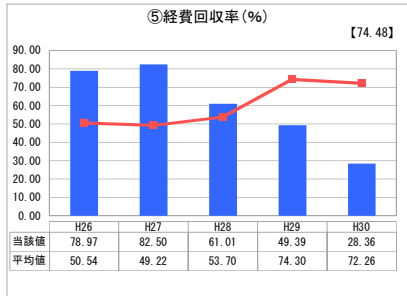
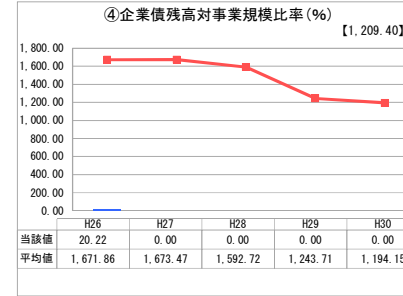
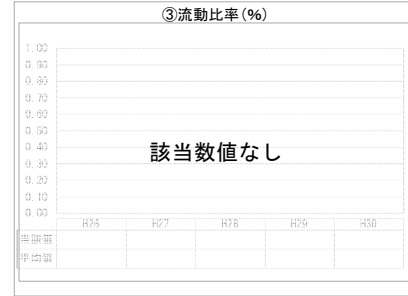
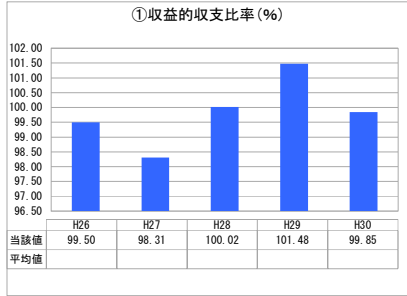
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.21	68.33	2,376

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,319	537.86	48.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,407	1.02	2,359.80

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	平成30年度全国平均

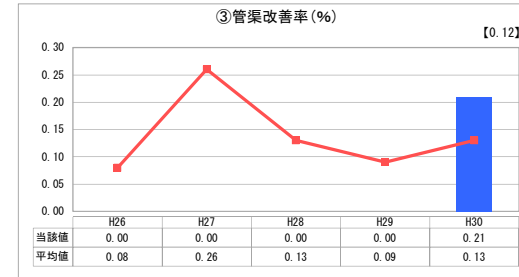
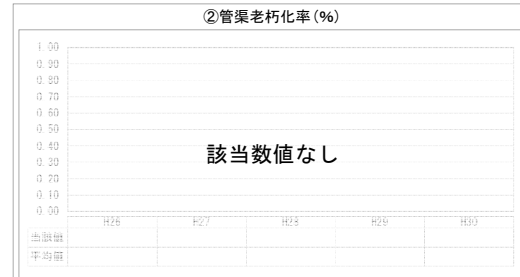
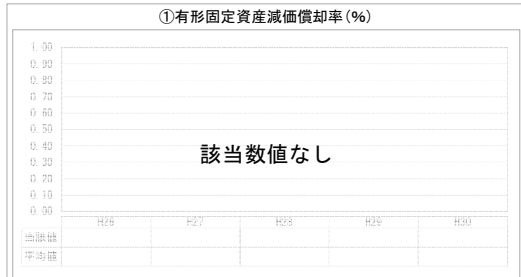
## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
- ④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。
  - ⑤経費回収率については、使用料収入で維持管理費を賄っていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっております。
  - ⑥汚水処理原価は、処理場維持管理費の増額により、増加しています。
  - ⑦施設利用率は、年々緩やかに上昇しています。
  - ⑧水洗化率は、施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況です。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込まず、今後の経営は、大変厳しい状況となっております。

今後不明水の発生区域を特定し、対策へ取り組むとともに、接続動架による有収水量の適正確保に努めます。さらに下水道使用料の改定も行っていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。